

第5回フットボールカンファレンス報告

2007.1.5-7 大阪国際交流センター

小野 剛

第5回フットボールカンファレンスが無事終了いたしましたので報告いたします。

1. カンファレンス概要

今回、大阪市ならびに大阪府サッカー協会に多大なる協力をいただき、首都圏から離れ大阪にて開催することとなったが、会場、ホテルからのアクセス、様々なサポート体制の充実、さらには、地方都市に自信を与えてくれたこと等々を含め、様々な面において非常によかったと感じている。

また、今回は過去に例のないほど多くの参加希望が殺到し、500名近い方にお断りをせざるを得ないほどであったが、これも、ここまでのカンファレンスの積み上げてきた実績を評価してもらったことであると考えている。

2. カンファレンスのテーマ

-The Brand New Start : 新たな前進-これまでの蓄積をベースに、そこから新たな第一歩、すなわちここから先は世界に向けて「打って出ていく」第一歩を踏み出そうというテーマで、以下のことを合言葉に進められた。

「様々な切り口からワールドカップおよび世界のサッカーを分析しそれを共有しよう。さらにそこに我々日本のあるいは日本人の持っているストロングポイントを重ね合わせることで、日本の将来に向けてビジョンを共有しよう。また、サッカーに携わる様々な人々が、領域、立場を越えてサッカー仲間として交流しよう。それが、一人ひとりの情熱が大きな力となって集結していくことにつながるはずである。」

3. カンファレンス内容

新年の忙しい時期にも関わらず、海外からもFIFAからオジェック氏、UEFAからアンディ・ロクスブラ氏はじめ様々な方が来てくれ、質の高い(間違いなく世界で最高の)プレゼンテーションで参加者を惹きつけてくれた。

また、我々スタッフ側も非常に綿密に準備してくれたおかげで、説得力のあるものを展開できたのではないかと考えている。とくに世界のサッカーと自分たちの日頃のサッカーというところの距離感をかなり縮めることができたのではないだろうか。

「我々の代表チーム、だから将来に向けて我々が何をすべきか」というカンファレンスの全体の流れが出てきたのもそのおかげである。その点においてテクニカルハウスのスタッフの貢献は多大なものであった。

.....

今回のカンファレンスは、多く人の尽力なくして成しえるものではありませんでした。地元協会関係の方々、寝る間もなく取り組んでくれたテクニカルスタッフ、通訳はじめ現地に対応してくれたスタッフ、そして年末年始返上で頑張ってくれた我々のスタッフ、すべての方々に感謝しております。